

(品目別需給編)

# 1 小麦

## (1)国際的な小麦需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省（USDA）の見通し>

2020/21 年度

**生産量** 前年度比 前月比

- ・ウクライナ等で下方修正も、ロシア、EU等で上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

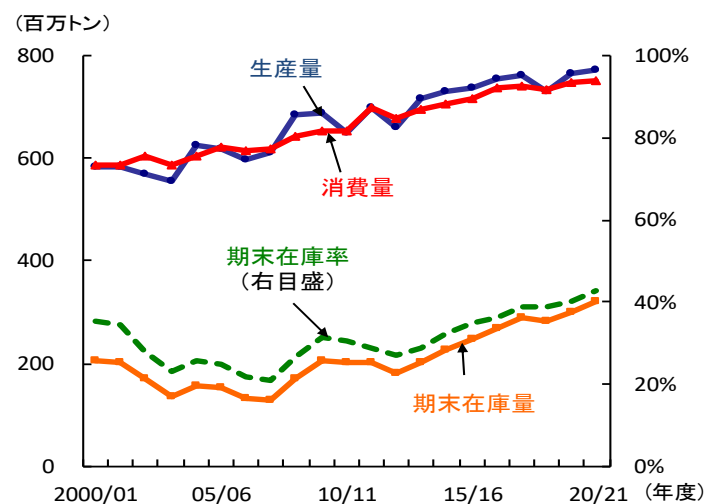
**消費量** 前年度比 前月比

- ・ウクライナ等で下方修正も、ロシア、米国等で上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

**輸出量** 前年度比 前月比

- ・ウクライナ等で下方修正も、ロシア等で上方修正され、前月から上方修正された。

**期末在庫量** 前年度比 前月比

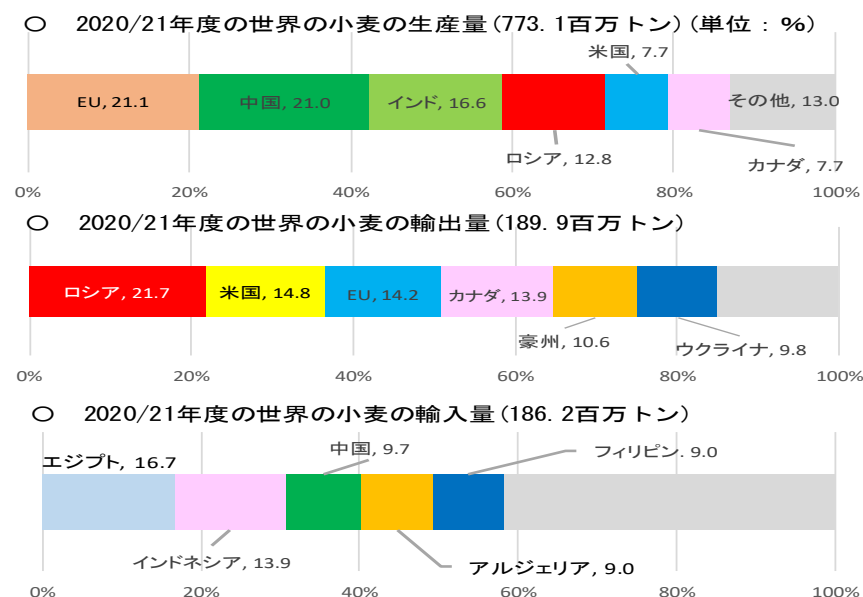


## ◎世界の小麦需給

(単位：百万トン)

| 年 度   | 2018/19 | 2019/20<br>(見込み) | 2020/21 |               |                |
|-------|---------|------------------|---------|---------------|----------------|
|       |         |                  | 予測値     | 前月予測<br>からの変更 | 対前年度<br>増減率(%) |
| 生 産 量 | 730.9   | 764.5            | 773.1   | 2.6           | 1.1            |
| 消 費 量 | 735.2   | 749.1            | 751.0   | 0.1           | 0.3            |
| うち飼料用 | 139.7   | 139.1            | 134.6   | ▲ 0.0         | ▲ 3.3          |
| 輸 出 量 | 173.6   | 191.5            | 189.9   | 0.5           | ▲ 0.8          |
| 輸 入 量 | 170.7   | 183.8            | 186.2   | 0.9           | 1.3            |
| 期末在庫量 | 284.0   | 299.4            | 321.5   | 2.1           | 7.4            |
| 期末在庫率 | 38.6%   | 40.0%            | 42.8%   | 0.3           | 2.8            |

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」(9 October 2020)



## (2) 国別の小麦の需給動向

### < 米国 >

【生育・生産状況】米国農務省(USDA)によれば、冬小麦は9月上旬に、春小麦は9月下旬に収穫は終了した。2020/21年度の生産量は、前月予測から0.3百万トン下方修正され、49.7百万トンの見込み。USDA「Crop Production」(2020.10.9)によれば、冬小麦は前月から0.7百万トン下方修正され、前年度を11.1%下回る31.9百万トン、春小麦は0.2百万トン上方修正され前年度を4.4%上回る15.9百万トン、デュラム小麦は0.2百万トン上方修正され、前年度を27.5%上回る1.9百万トンの見込み。

冬小麦の収穫量が前年度対比で大きく減少した生産州は、カンザス州(対前年度19.3%減)、モンタナ州(同20%減)、オクラホマ州(同5.5%減)である。一方、春小麦は、最大の生産州であるノースダコタ州で減少(同5%減)したものの、モンタナ州(同23.4%増)、サウスダコタ州(同40.8%増)、ワシントン州(同34.8%増)で増加した。

また、2021/22年度の冬小麦は、乾燥天候の中、作付けが終盤に向かうとともに、発芽が進展している。USDA「Crop Progress」(2020.10.19)によれば、主要18州の作付進捗率は77%と前年度の74%、5年平均の72%を上回っている。また発芽進捗率は、51%と前年度の50%、5年平均の48%を上回っている。

なお、ラニーニャの発生により、冬にかけて平年より乾燥した天候が冬小麦地帯の中央及び南部グレートプレーンズの中央部及び南部で続く見通し。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、26.5百万トンの見込み。輸出価格は9月末のUSDA「Small Grain 2020 Summary」での生産量予測の下方修正等から上昇している。品種別では、ハード・レッド・ウインターは生産量の減少に加え中国の強い需要、ソフト・レッド・ウインターは、とうもろこし・大豆との港湾輸出設備での競合から上昇。9月の輸出検証高は、中国が最も多く37.7万トン(15.5%)で、フィリピン33.7万トン(13.9%)が続く。なお、2020年1月から同年9月の輸出検証高では、中国は140.0万トンと第4位。

## 小麦－米国（冬小麦が全体の7割、春小麦は3割）

(単位:百万トン)

| 年 度        | 2018/19 | 2019/20<br>(見込み) | 2020/21 |               |                |
|------------|---------|------------------|---------|---------------|----------------|
|            |         |                  | 予測値     | 前月予測<br>からの変更 | 対前年度<br>増減率(%) |
| 生産量        | 51.3    | 52.6             | 49.7    | ▲ 0.3         | ▲ 5.5          |
| 消費量        | 30.0    | 30.6             | 30.5    | 0.3           | ▲ 0.2          |
| うち飼料用      | 2.4     | 2.8              | 2.7     | 0.3           | ▲ 1.8          |
| 輸 出 量      | 25.5    | 26.3             | 26.5    | -             | 1.0            |
| 輸 入 量      | 3.7     | 2.9              | 3.4     | ▲ 0.1         | 18.9           |
| 期末在庫量      | 29.4    | 28.0             | 24.0    | ▲ 1.2         | ▲ 14.1         |
| 期末在庫率      | 53.0%   | 49.2%            | 42.1%   | ▲ 2.2         | ▲ 7.1          |
| (参考)       |         |                  |         |               |                |
| 収穫面積(百万ha) | 16.03   | 15.13            | 14.87   | 0.03          | ▲ 1.7          |
| 単収(t/ha)   | 3.20    | 3.47             | 3.34    | ▲ 0.03        | ▲ 3.7          |

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、  
「World Agricultural Production」(9 October 2020)

表 2020/21年度米国の種類別小麦の生産量、収穫面積、単収

|        | 生産量       |       |       | 収穫面積      |       |       | 単収        |       |       |
|--------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|
|        | 2020/21年度 | 前月差   | 対前年度比 | 2020/21年度 | 前月差   | 対前年度比 | 2020/21年度 | 前月差   | 対前年度比 |
| 冬小麦    | 31.9      | -0.74 | -11.1 | 9.32      | -0.17 | -6.4  | 3.42      | -0.02 | -5.0  |
| デュラム小麦 | 1.9       | 0.19  | 27.5  | 0.67      | 0.09  | 41.2  | 2.78      | -0.09 | -9.7  |
| 春小麦    | 15.9      | 0.23  | 4.4   | 4.88      | 0.11  | 3.7   | 3.27      | -0.02 | 0.7   |
| 合計     | 49.7      | -0.32 | -5.5  | 14.87     | 0.03  | -1.7  | 3.34      | -0.03 | -3.8  |

注) 生産量は百万トン、収穫面積は百万ヘクタール、単収はトン/ヘクタール

資料: USDA「Crop Production」(2020.10.9)をもとに農林水産省で作成

## 表 米国の小麦輸出先国別輸出量（輸出検証高）

(万トン)

| 2020年9月 |       |        | 2020年1月～9月 |         |        |
|---------|-------|--------|------------|---------|--------|
| 国名      | 検証高   | シェア(%) | 国名         | 累積検証高   | シェア(%) |
| 中国      | 37.7  | 15.5   | フィリピン      | 259.2   | 12.8   |
| フィリピン   | 33.7  | 13.9   | メキシコ       | 224.1   | 11.1   |
| ブラジル    | 20.7  | 8.5    | 日本         | 202.6   | 10.0   |
| 日本      | 20.4  | 8.4    | 中国         | 140.0   | 6.9    |
| メキシコ    | 20.2  | 8.3    | ナイジェリア     | 116.0   | 5.7    |
| その他     | 109.9 | 45.3   | その他        | 1,081.0 | 53.4   |
| 合計      | 242.6 | 100.0  | 合計         | 2,022.9 | 100.0  |

注1. 9月の輸出検証高は、9月10、17、24日及び10月1日の合計値

注2. 累積輸出検証高は、2020年1月2日～10月1日の合計

資料: USDA Federal Grain Inspection Services Yearly Export Grain Totals(2020年10月9日)より作成

## < カナダ >

【生育・生産状況】カナダ農務農産食品省(AAFC)「Outlook For Principal Field Crops」(2020.10.22)によれば、2020/21年度の生産量は、前月予測からの変更はなく34.1百万トンの見込み。単収と収穫面積の増加により、前年度より4.5%増加した。

種類別の生産量は、デュラム小麦、普通小麦とも前月予測からの変更はなく、それぞれ6.1百万トン、28.0百万トン。デュラム小麦は単収の上昇と作付面積の増加により前年度より22%増加し、普通小麦は作付面積が減少したものの、単収の増加により1%増加した。普通小麦のうち春小麦は前年度より2%減少し25.2百万トン、冬小麦は前年度より68%増加し2.8百万トンの見込み。

収穫は、デュラム小麦が終了。また、各州政府によれば、春小麦の収穫進捗率は、サスカチュワン州で97%(10月5日現在)、アルバータ州で97%(10月13日現在)、マニトバ州で99%(10月20日現在)。

品質は、デュラム小麦、普通小麦とも、収穫期に天候に恵まれたため、昨年度より良好である。

USDAによれば、2020/21年度の実産量は、単収が下方修正されたことから、前月予測から1.0百万トン下方修正されたものの、35.0百万トンと、2013/14年度以来の豊作となる見込み。サスカチュワン州、アルバータ州では、7月に気温が平年を上回ったため、早熟となり単収が伸び悩んだ。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の実輸出量は、前月予測からの変更はなく、25.0百万トンの見込み。AAFCによれば、輸出量は、デュラム小麦が輸出余力に限られるため前年度よりわずかに減少し、普通小麦は生産量が回復した豪州と競合するため、前年度に比べ僅かな増加に留まる見込み。

カナダ穀物委員会(Canadian Grain Commission)によれば、2020/21年度(2020年8月～2021年7月)の8月の普通小麦の実輸出量は185.0万トンで、国別ではペルーが26.1万トン、中国が21.7万トンの順。

## 小麦－カナダ（春小麦を主に栽培）

(単位:百万トン)

| 年 度        | 2018/19 | 2019/20<br>(見込み) | 2020/21       |               |                |
|------------|---------|------------------|---------------|---------------|----------------|
|            |         |                  | 予測値、( )はAAFC  | 前月予測<br>からの変更 | 対前年度<br>増減率(%) |
| 生 産 量      | 32.2    | 32.4             | 35.0 (34.1)   | ▲ 1.0         | 8.2            |
| 消 費 量      | 9.1     | 9.3              | 9.7 (9.0)     | ▲ 0.3         | 4.8            |
| うち飼料用      | 4.2     | 4.2              | 4.5 (4.4)     | ▲ 0.3         | 8.2            |
| 輸 出 量      | 24.4    | 24.6             | 25.0 (24.5)   | －             | 1.5            |
| 輸 入 量      | 0.5     | 0.7              | 0.5 (0.2)     | －             | ▲ 33.8         |
| 期末在庫量      | 5.9     | 5.0              | 5.8 (6.3)     | ▲ 0.7         | 14.9           |
| 期末在庫率      | 17.6%   | 14.8%            | 16.7% (18.8%) | ▲ 1.9         | 1.8            |
| (参考)       |         |                  |               |               |                |
| 収穫面積(百万ha) | 9.88    | 9.66             | 9.90 (9.88)   | －             | 2.5            |
| 単収(t/ha)   | 3.26    | 3.35             | 3.54 (3.46)   | ▲ 0.10        | 5.7            |

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「World Agricultural Production」(9 October 2020)  
AAFC 「Outlook For Principal Field Crops」(22 October 2020)

写真: 収穫が間近な小麦の圃場(2020年10月8日)



写真のサスカチュワン州北部の小麦の圃場では、カナダ・ウェスタン・レッドスプリング小麦(CWRS)が栽培されている。

表 2020年8月及び2019/200年度のカナダ普通小麦の輸出相手国(輸出検証高、シェア)

|   | 2020年8月 |              |               | 2019年8月～2020年7月 |              |               |
|---|---------|--------------|---------------|-----------------|--------------|---------------|
|   | 国名      | 輸出量<br>(万トン) | 輸出量シェア<br>(%) | 国名              | 輸出量<br>(万トン) | 輸出量シェア<br>(%) |
| 1 | ペルー     | 26.1         | 14.1          | インドネシア          | 218.2        | 12.1          |
| 2 | 中国      | 21.7         | 11.7          | 日本              | 180.0        | 10.0          |
| 3 | コロンビア   | 18.2         | 9.8           | 中国              | 171.2        | 9.5           |
| 4 | インドネシア  | 16.3         | 8.8           | バングラデシュ         | 143.4        | 7.9           |
| 5 | 日本      | 15.0         | 8.1           | ペルー             | 132.4        | 7.3           |
| 6 | その他     | 87.7         | 47.4          | その他             | 959.5        | 53.2          |
| 計 |         | 185.0        | 100.0         | 計               | 1804.7       | 100.0         |

注1: Canadian Grain Commissionが認可したエレベーターから輸出された小麦(Licensed)のみのデータ。

注2 普通小麦の品種はNO.1-3 Canada Western Red Spring No.1 Canada Western Red Winter  
No.2 Canada Eastern Red Spring, No.2 Canada Eastern Other

注3: 累計輸出検証高は2019年8月～2020年7月までの累計

資料: Canadian Grain Commission「Export of Canadian Grain and Wheat Flour」をもとに作成

## < 豪州 >

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、28.5百万トンと前年度対比87.5%となる見込み。

一方、豪州農業資源経済科学局(ABARES)「Crop Report」(2020.9.8)では、2020/21年度の生産量は前年度に比べ90.6%増加し28.9百万トンと見込まれている（前回6月予測は26.7百万トン、5年平均は21.6百万トン）。

10月半ばまでに、SA州、VIC州、NSW州南部では、降雨があり、生殖生長期から登熟期にある冬作物に好影響を与えた。また、NSW州北部とQLD州南部では降雨があったものの、NSW州中央部は乾燥天候となっている。

一方で、WA州では、10月半ばに収穫が開始されたが、小麦生産地の大部分では、乾燥天候が続いた。そのため、同州北部では早熟となり、単収を減少させた可能性がある。

WA州の穀物関係団体(GIWA)(2020.10.16)によれば、同州の小麦生産量は、9月予測から1.1百万トン(12.4%)下方修正され、7.4百万トンの見込み。

年間を通して降雨が少なく土壌水分が不十分であったため、単収が伸びなかった。また、品質は、現時点での判断は時期尚早であるが、春の気候条件が寒冷で十分な成熟期間があったことから、規格外の粒の割合は低くなると見られている。

なお、ABARES「Crop Report」(2020.9.8)によれば、WA州の生産量は8.9百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく19.0百万トンの見込み。生産量の増加から、前年度(9.5百万トン)に比べ倍増する見込み。

輸出価格は、米国、ロシア、ウクライナの小麦輸出価格の上昇に伴い、10月8日時点で261ドル/トンと9月9日時点の244ドル/トンから上昇した。

## 小麦－豪州（冬小麦を主に栽培）

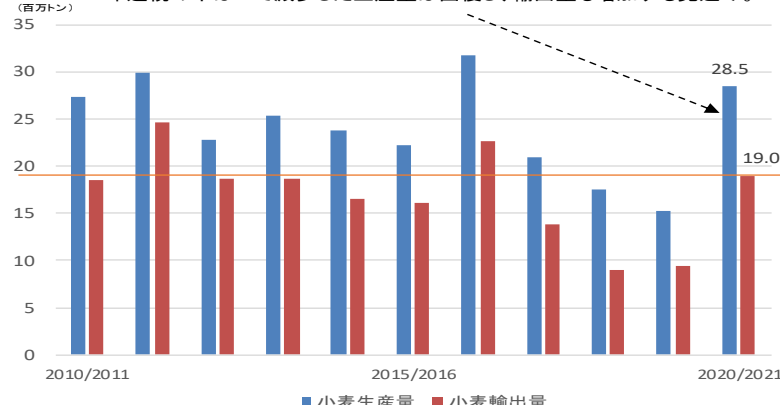
(単位:百万トン)

| 年 度         | 2018/19 | 2019/20<br>(見込み) | 2020/21       |               |                |  |
|-------------|---------|------------------|---------------|---------------|----------------|--|
|             |         |                  | 予測値、( )はIGC   | 前月予測<br>からの変更 | 対前年度<br>増減率(%) |  |
| 生産量         | 17.6    | 15.2             | 28.5 (28.4)   | -             | 87.5           |  |
| 消費量         | 9.2     | 8.4              | 7.5 (7.3)     | -             | ▲10.7          |  |
| うち飼料用       | 5.7     | 4.9              | 4.0 (3.7)     | -             | ▲18.4          |  |
| 輸出量         | 9.0     | 9.5              | 19.0 (18.6)   | -             | 100.0          |  |
| 輸入量         | 0.5     | 0.8              | 0.2 (0.2)     | -             | ▲73.3          |  |
| 期末在庫量       | 5.4     | 3.5              | 5.7 (6.2)     | -             | 63.0           |  |
| 期末在庫率       | 29.9%   | 19.5%            | 21.5% (23.9%) | -             | 2.0            |  |
| (参考)        |         |                  |               |               |                |  |
| 収穫面積(百万ha)※ | 10.40   | 10.20            | 13.00 (13.0)  | -             | 27.5           |  |
| 単収(t/ha)    | 1.69    | 1.49             | 2.19 (2.19)   | -             | 47.0           |  |

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「World Agricultural Production」(9 October 2020)  
IGC 「Grain Market Report」(24 September 2020)

### 豪州の小麦生産量及び輸出量の推移(2010/11～2020/21)

2年連続の干ばつで減少した生産量は回復し、輸出量も増加する見込み。



資料: USDA「PS&D」(2020.10.9)をもとに農林水産省で作成

(※)NSW州: ニューサウスウェールズ州 WA州: ウェスタンオーストラリア州

QLD州: クイーンズランド州 SA州: サウスオーストラリア州

## < EU >

【生育・生産状況】EU 委員会「EU Cereals Production Area and Yield」(2020.9.24)(EU27)によれば、2020/21 年度の生産量は、前月予測から 2.1 百万トン上方修正され、123.7 百万トンの見込み。

そのうち、普通小麦は、前月予測から 2.0 百万トン上方修正され、116.4 百万トンの見込み。主要生産国では、ドイツが 1.8 百万トン上方修正され 21.9 百万トンとなったものの、フランスが 0.2 百万トン下方修正され 29.5 百万トン。また、デュラム小麦は、前月予測から 0.1 百万トン上方修正され、7.3 百万トンの見込み。主要生産国では、イタリア、フランス、スペイン等で僅かに上方修正された。

なお、USDA によれば、2020/21 年度の実生産量(EU27+英国)は、収穫面積が減少したものの、単収が上方修正されたことから、前月予測より 0.6 百万トン上方修正され、前年度を 11.7%下回る 136.8 百万トンの見込み。収穫面積が減少し単収が低下したことから、前年度に比べ、11.7%の減少となった。

英国農業園芸開発公社(AHDB)によれば、8 月の降雨等で遅れていた英国の収穫は 9 月末に終了。品質は、8 月の降雨前に収穫された小麦はタンパク質が十分で、容積重は中程度の一方、降雨後に収穫された小麦は発芽粒等により低下している。

また、2021/22 年度の播種が進んでおり、フランスアグリメール(2020.10.19)によれば、良好な土壌水分であることから、北東部のロレーヌ地方から播種が開始され、冬小麦の播種進捗率は 45%(昨年同時期 27%)、デュラム小麦は 5%となった。スペインでは、乾燥天候となり冬作物の播種が進行し、ポーランド、イタリアでは 9 月中旬以降の降雨が冬小麦の播種と発芽に好影響を与えた。

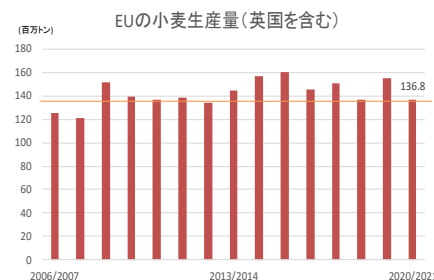
【貿易情報・その他】USDA によれば、2020/21 年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、25.5 百万トンの見込み。欧州委員会によれば、2020 年 1 月から 7 月までの普通小麦の輸出量は、アルジェリア(16.1%)、モロッコ(9.5%)、サウジアラビア(6.6%)、中国(6.4%)の順。

## 小麦—EU (冬小麦を主に栽培)

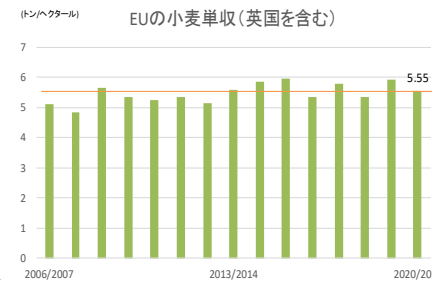
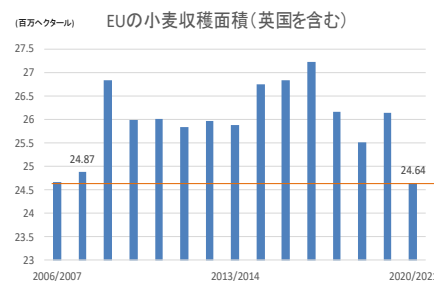
(単位:百万トン)

| 年 度        | 2018/19 | 2019/20<br>(見込み) | 2020/21       |               |                |
|------------|---------|------------------|---------------|---------------|----------------|
|            |         |                  | 予測値、( ) はEU   | 前月予測<br>からの変更 | 対前年度<br>増減率(%) |
| 生 産 量      | 136.7   | 154.9            | 136.8 (121.5) | 0.6           | ▲ 11.7         |
| 消 費 量      | 121.1   | 122.5            | 117.5 (104.1) | 0.2           | ▲ 4.1          |
| うち飼料用      | 51.5    | 52.5             | 47.5 (39.9)   | -             | ▲ 9.5          |
| 輸 出 量      | 23.3    | 38.4             | 25.5 (25.3)   | -             | ▲ 33.6         |
| 輸 入 量      | 5.8     | 4.8              | 5.5 (7.0)     | -             | 14.6           |
| 期末在庫量      | 16.0    | 14.8             | 14.1 (8.0)    | 0.4           | ▲ 5.1          |
| 期末在庫率      | 11.1%   | 9.2%             | 9.8% (6.2%)   | 0.3           | 0.6            |
| (参考)       |         |                  |               |               |                |
| 収穫面積(百万ha) | 25.52   | 26.14            | 24.64 (22.76) | ▲ 0.06        | ▲ 5.7          |
| 単収(t/ha)   | 5.36    | 5.93             | 5.55 (5.34)   | 0.04          | ▲ 6.4          |

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
USDA 「PS&D」(11 September 2020) 表内のデータはEU27+英国  
IGC 「Grain Market Report」(24 September 2020) ()内はEU27ヶ国のデータ



2020/21 年度の EU(英国を含む)は、昨秋の播種時期の降雨や今春の欧州大陸の厳しい干ばつ等による収穫面積の減少や単収の低下から生産量は 136.8 百万トンに減少した。



資料: USDA「PS&D」(2020. 10. 9)をもとに農林水産省で作成

## < 中国 >

【生育・生産状況】中国気象台によれば、10月2日現在、2020/21年度の冬及び春小麦の収穫は終了した。中国糧油情報センター(2020.10.9)によれば、2020/21年度の小麦の生産量は、前月予測からの変更はなく、前年度を0.3%上回る134.0百万トンの見込み。種類別には、冬小麦、春小麦とも前月予測からの変更はなく、それぞれ126.6百万トン、7.4百万トンの見込み。

2021/22年度の冬小麦は、9月末に新疆、陝西、河北、山西地区で播種期に入り、一部では出苗期となっている。播種進捗率は、山西地区で50%を超え、河北地域では50%に近づいている。

【貿易情報・その他】中国農産品供需形勢分析月報(9月)によれば、国内の小麦価格は小麦粉の需要が旺盛で、製粉企業の操業率も上昇が継続していることから、小幅に上昇した。

中国糧油情報センターによれば、2020/21年度の輸入量は、前月予測からの変更はなく、7.0百万トンの見込み。前年度(4.2百万トン)に比べ67.9%の増加となる。

中国海関統計によれば、2020年1月から8月の小麦の輸入量計は、前年同期に比べ2.5倍の480.4万トン。輸入先国はカナダ、フランス、豪州の順。

前年同期と輸入国シェアと比較すると、フランスが13.1%から27.8%に、豪州が7.9%から21.2%、米国が4.2%から13.6%に増加した。米国からは5月から8月の4ヶ月間に65.2万トンを輸入した(1月から8月まで2019年は4.2万トン、2018年は36.1万トン)。

USDA「Wheat Outlook」(2020.10.9)によれば、中国の小麦期末在庫量は世界の期末在庫量の51%以上を占めているが、その小麦は比較的低品質(国内需要を満たすために小麦栽培を奨励した補助金の結果)で、かなりの量が収穫後から数年経たったものと見られている。そのため、製粉用として適合性に疑問があり、食品加工用に高品質軟質小麦をフランス、米国、豪州から輸入している。

## 小麦－中国（冬小麦を主に栽培）

(単位:百万トン)

| 年 度        | 2018/19 | 2019/20<br>(見込み) | 2020/21         |               |                |
|------------|---------|------------------|-----------------|---------------|----------------|
|            |         |                  | 予測値、( )はIGC     | 前月予測<br>からの変更 | 対前年度<br>増減率(%) |
| 生産量        | 131.4   | 133.6            | 136.0 (135.0)   | -             | 1.8            |
| 消費量        | 125.0   | 126.0            | 130.0 (132.0)   | -             | 3.2            |
| うち飼料用      | 20.0    | 19.0             | 20.0 (21.0)     | -             | 5.3            |
| 輸 出 量      | 1.0     | 1.1              | 1.0 (1.3)       | -             | ▲ 4.8          |
| 輸 入 量      | 3.2     | 5.4              | 7.5 (6.9)       | 0.5           | 39.4           |
| 期末在庫量      | 139.8   | 151.7            | 164.2 (138.8)   | 0.5           | 8.2            |
| 期末在庫率      | 110.9%  | 119.4%           | 125.3% (104.2%) | 0.4           | 5.9            |
| (参考)       |         |                  |                 |               |                |
| 収穫面積(百万ha) | 24.27   | 23.73            | 24.00 (23.8)    | -             | 1.1            |
| 単収(t/ha)   | 5.42    | 5.63             | 5.67 (5.35)     | -             | 0.7            |

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「World Agricultural Production」(9 October 2020)  
IGC 「Grain Market Report」(24 September 2020)

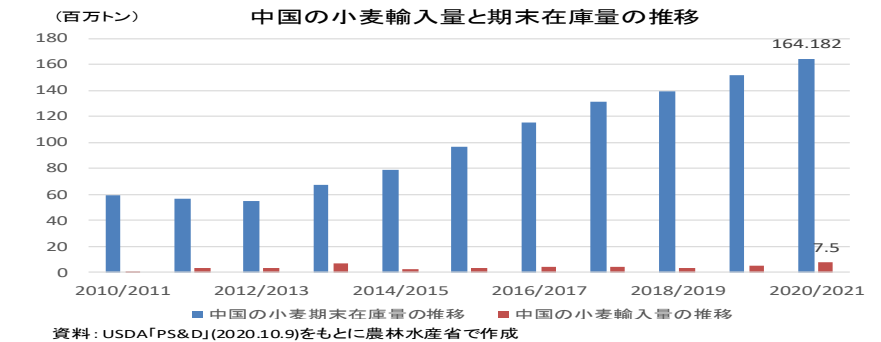


表 中国の小麦輸入先国別輸入量とシェアの推移

|   | 2018年1月～2018年8月 |              |               | 2019年1月～2019年8月 |              |               | 2020年1月～2020年8月 |              |               |
|---|-----------------|--------------|---------------|-----------------|--------------|---------------|-----------------|--------------|---------------|
|   | 国名              | 輸入量<br>(万トン) | 輸入量シェア<br>(%) | 国名              | 輸入量<br>(万トン) | 輸入量シェア<br>(%) | 国名              | 輸入量<br>(万トン) | 輸入量シェア<br>(%) |
| 1 | カナダ             | 79.6         | 38.7          | カナダ             | 137.1        | 71.4          | カナダ             | 141.3        | 29.4          |
| 2 | 豪州              | 47.2         | 22.9          | カザフスタン          | 27.2         | 14.2          | フランス            | 133.8        | 27.8          |
| 3 | 米国              | 36.1         | 17.6          | フランス            | 13.1         | 6.8           | 豪州              | 101.6        | 21.2          |
| 4 | カザフスタン          | 35.8         | 17.4          | 豪州              | 7.9          | 4.1           | 米国              | 65.2         | 13.6          |
| 5 | ロシア             | 6.9          | 3.4           | 米国              | 4.2          | 2.2           | リトアニア           | 21.8         | 4.5           |
| 6 | その他             | 0.0          | 0.0           | その他             | 2.5          | 1.3           | その他             | 16.6         | 3.4           |
|   | 計               | 205.7        | 100.0         | 計               | 192.0        | 100.0         | 計               | 480.4        | 100.0         |

出典: 中国海関統計(2020.9.25)をもとに農林水産省で作成

## < ロシア >

【生育・生産状況】ロシア農業省によれば、10月9日時点のロシア全土の2020/21年度の冬及び春小麦の収穫済面積は28.7百万ヘクタール、収穫進捗率は97.4%。収穫量は86.9百万トン（調整前重量）で、単収は3.03トン/ヘクタールである。

USDAによれば、生産量は、前月予測から5.0百万トン上方修正され、83.0百万トンで、冬小麦が58.0百万トン、春小麦は単収が上方修正され25.0百万トン。

春小麦の生産量の増加要因は、春小麦生産地帯北部の良好な生育環境や、近年、改良された種子、肥料や最新の農業機械等の導入の増加により、従来は低かった地域（シベリア連邦管区）の単収が上昇した。

ロシア国営「穀物品質評価センター」のサンプル調査(30.9百万トン)によれば、10月12日時点で、主に食用用途の1等から4等の比率は70.9%と前年同日の78.9%を下回っている。

ロシア農業省によれば、2021/22年度の冬小麦を含む穀物の播種が進展。10月9日現在、作付予定面積(19.18百万ヘクタール)のうち78.7%にあたる15.09百万ヘクタールで播種が終了。9月末の生育段階は、ロシア・ヨーロッパ部の南部で播種が開始、北部で発芽から分けつ期、ロシア・アジア部では概ね分けつ期となっている。

USDAによれば、ロシア西部の主要冬小麦生産地の多くでは8月5日以来の累積降水量はここ30年間で最低となっており、南部連邦管区、北カフカス連邦管区の降水量は平年の20%を下回っている。10月半ばに降雨があったものの、干ばつから回復するためには更なる降雨が必要となっている。このため、干ばつが定着に影響を与えた前年度よりもさらに生育状況は悪い。現地調査会社は、土壌水分不足が続き気温が零下まで低下すると、冬小麦の10～15%が枯死する可能性があるとみている。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月から1.5百万トン上方修正され、37.5百万トンの見込み。ロシア税関統計によれば、8月の輸出先国はトルコ(18.1%)、エジプト(16.2%)、バングラデシュ(9.7%)の順。

## 小麦－ロシア(主産地の欧州部で冬小麦、シベリアで春小麦を栽培)

(単位:百万トン)

| 年 度        | 2018/19 | 2019/20<br>(見込み) | 2020/21     |         |               |                |
|------------|---------|------------------|-------------|---------|---------------|----------------|
|            |         |                  | 予測値、( )はIGC |         | 前月予測<br>からの変更 | 対前年度<br>増減率(%) |
| 生産量        | 71.7    | 73.6             | 83.0        | (81.5)  | 5.0           | 12.8           |
| 消費量        | 40.5    | 40.0             | 41.0        | (41.3)  | 0.5           | 2.5            |
| うち飼料用      | 18.0    | 17.0             | 18.0        | (18.2)  | 0.5           | 5.9            |
| 輸出量        | 35.9    | 34.5             | 39.0        | (38.1)  | 1.5           | 13.1           |
| 輸入量        | 0.5     | 0.3              | 0.5         | (0.3)   | -             | 51.5           |
| 期末在庫量      | 7.8     | 7.2              | 10.7        | (11.4)  | 2.8           | 48.4           |
| 期末在庫率      | 10.2%   | 9.7%             | 13.4%       | (14.3%) | 3.2           | 3.7            |
| (参考)       |         |                  |             |         |               |                |
| 収穫面積(百万ha) | 26.34   | 27.31            | 28.30       | (28.5)  | -             | 3.6            |
| 単収(t/ha)   | 2.72    | 2.70             | 2.93        | (2.86)  | 0.17          | 8.5            |

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「World Agricultural Production」(9 October 2020)  
IGC 「Grain Market Report」(24 September 2020)

(百万トン) ロシアの月別小麦輸出量の推移 (2018/19年度～2020/21年度)

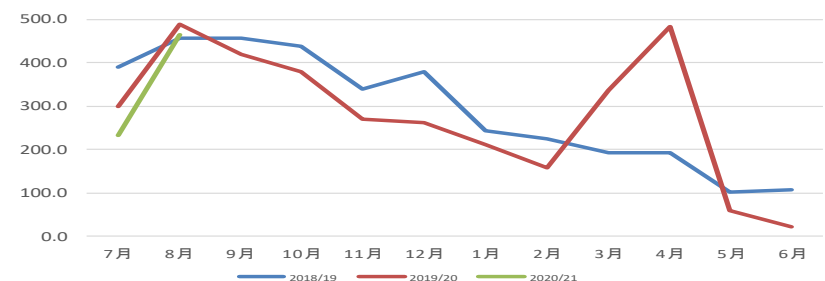


表 ロシアの小麦輸出先国(シェア)

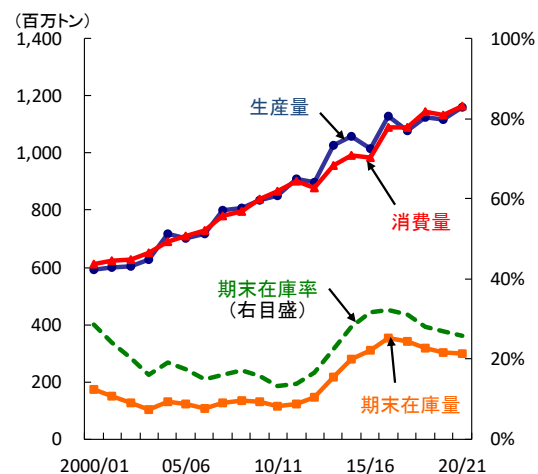
|   | 2020年8月  |              |              | 2020年7月～2020年8月 |              |              |
|---|----------|--------------|--------------|-----------------|--------------|--------------|
|   | 国 名      | 輸出量<br>(万トン) | 輸出シェア<br>(%) | 国 名             | 輸出量<br>(万トン) | 輸出シェア<br>(%) |
| 1 | トルコ      | 84.2         | 18.1         | トルコ             | 130.0        | 18.6         |
| 2 | エジプト     | 75.3         | 16.2         | エジプト            | 103.4        | 14.8         |
| 3 | バングラデシュ  | 45.0         | 9.7          | バングラデシュ         | 61.9         | 8.9          |
| 4 | アゼルバイジャン | 25.1         | 5.4          | アゼルバイジャン        | 37.6         | 5.4          |
| 5 | イスラエル    | 22.8         | 4.9          | ナイジェリア          | 31.8         | 4.6          |
| 6 | その他      | 212.5        | 45.7         | その他             | 333.3        | 47.8         |
| 計 |          | 464.9        | 100.0        |                 | 698.0        | 100.0        |

(注)2020/21年度は、2020年7月から2021年6月  
資料: ロシア税関統計をもとに農林水産省で作成

## 2 とうもろこし

(1) 国際的なとうもろこし需給の概要（詳細は右表を参照）

| <米国農務省（USDA）の見通し> 2020/21 年度            |      |   |     |   |  |
|-----------------------------------------|------|---|-----|---|--|
| 生産量                                     | 前年度比 | ↑ | 前月比 | ↓ |  |
| ・米国、ウクライナ等で下方修正され、前月から下方修正された。史上最高の見込み。 |      |   |     |   |  |
| 消費量                                     | 前年度比 | ↑ | 前月比 | ↓ |  |
| ・米国、EU等で下方修正され、前月から下方修正された。史上最高の見込み。    |      |   |     |   |  |
| 輸出量                                     | 前年度比 | ↑ | 前月比 | ↓ |  |
| ・ウクライナ等で下方修正され、前月から下方修正された。史上最高の見込み。    |      |   |     |   |  |
| 期末在庫量                                   | 前年度比 | ↓ | 前月比 | ↓ |  |



資料：USDA「PS&D」（2020.10.9）をもとに農林水産省にて作成

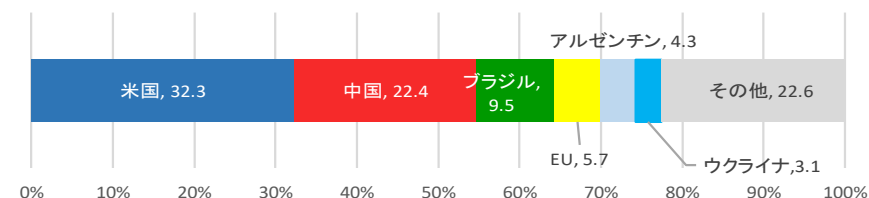
## ◎世界のとうもろこし需給

(単位:百万トン)

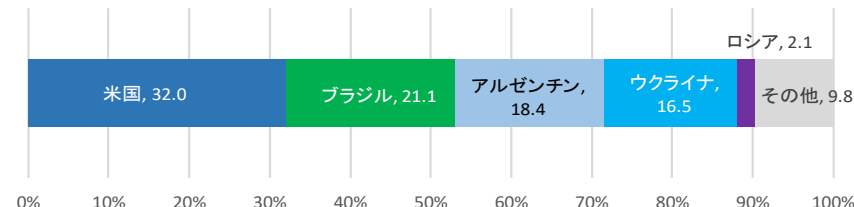
| 年 度   | 2018/19 | 2019/20<br>(見込み) | 2020/21 |               |                |
|-------|---------|------------------|---------|---------------|----------------|
|       |         |                  | 予測値     | 前月予測からの<br>変更 | 対前年度<br>増減率(%) |
| 生産量   | 1,123.4 | 1,116.3          | 1,158.8 | ▲ 3.6         | 3.8            |
| 消費量   | 1,144.2 | 1,131.9          | 1,162.6 | ▲ 2.1         | 2.7            |
| うち飼料用 | 702.5   | 714.2            | 731.3   | ▲ 1.8         | 2.4            |
| 輸出量   | 181.1   | 170.6            | 184.5   | ▲ 1.6         | 8.2            |
| 輸入量   | 163.2   | 167.1            | 177.8   | ▲ 1.5         | 6.4            |
| 期末在庫量 | 319.8   | 304.2            | 300.5   | ▲ 6.3         | ▲ 1.2          |
| 期末在庫率 | 28.0%   | 26.9%            | 25.8%   | ▲ 0.5         | ▲ 1.0          |

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」(9 October 2020)

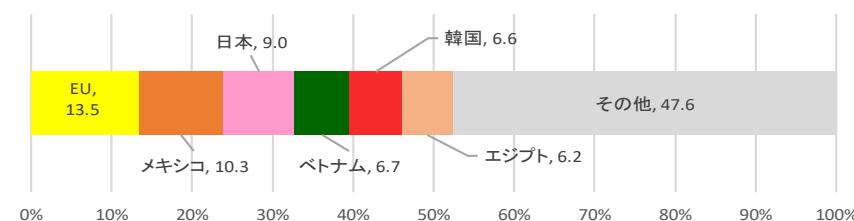
○ 2020/21 年度 世界のとうもろこしの生産量(1,158.8百万トン)(単位:%)



○ 2020/21 年度 世界のとうもろこしの輸出量(184.5百万トン)



○ 2020/21 年度 世界のとうもろこしの輸入量(177.8百万トン)



## (2) 国別のとうもろこしの需給動向

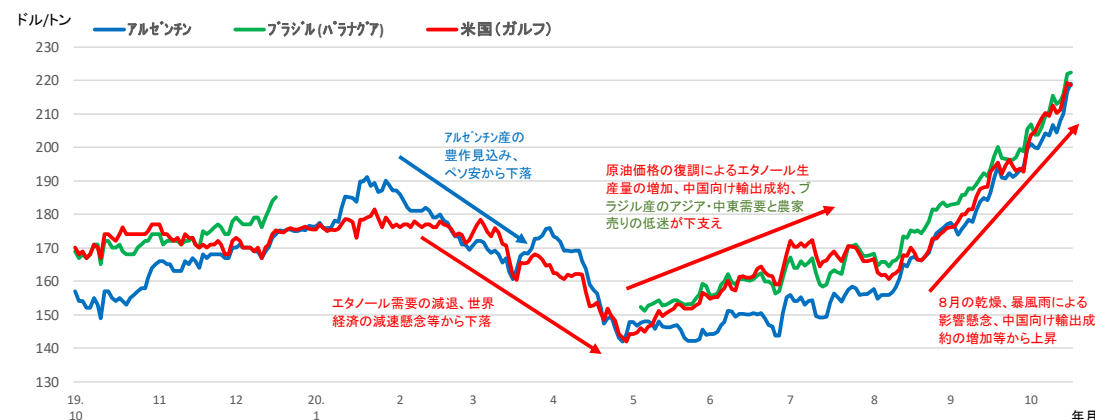
### < 米国 >

【生育・生産状況】米国農務省（USDA）によれば、2020/21年度の生産量は、収穫面積及び単収の下方修正により前月から4.5百万トン下方修正されたものの、前年度より8.1%増の374.0百万トンの見込み。「Crop Progress」（2020.10.19）によれば、収穫期の好天に恵まれ、10月18日現在で成熟率は97%と、過去5年平均（94%）及び前年度同期（82%）より進んでいる。収穫率は60%と、過去5年平均（43%）及び前年度同期（28%）より進んでいる。また、作柄評価は、良からやや良が61%と前年度同期（56%）を上回っている。

【需要動向】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、価格上昇による飼料用需要の伸び悩みと新型コロナウイルスの影響によるガソリン混合用エタノール需要の伸び悩みから前月予測から2.5百万トン下方修正されたものの、前年度より1.2%増の311.2百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、前年度より30.8%増の59.1百万トンの見込み。なお、輸出検証高（2020年1月2日～10月1日）は、37.5百万トンであり、内訳はメキシコ（10.6百万トン）、日本（8.7百万トン）の順である。

図：米国、ブラジル、アルゼンチンのとうもろこし輸出価格（FOB）の推移



資料：IGCのデータをもとに農林水産省にて作成

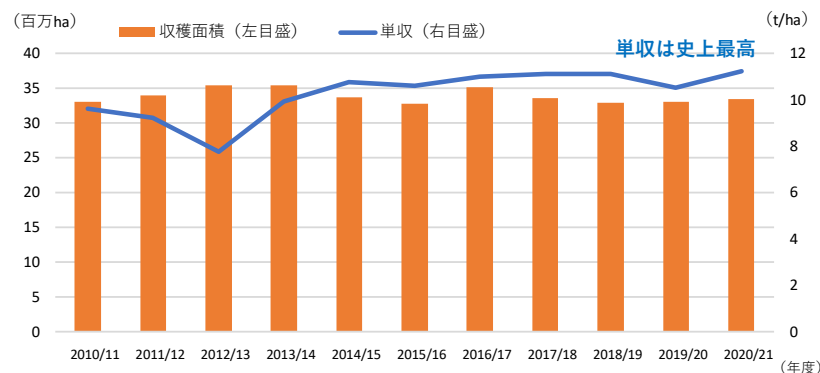
## とうもろこし－米国

(単位:百万トン)

| 年 度        | 2018/19 | 2019/20<br>(見込み) | 2020/21 |           |            |
|------------|---------|------------------|---------|-----------|------------|
|            |         |                  | 予測値     | 前月予測からの変更 | 対前年度増減率(%) |
| 生産量        | 364.3   | 346.0            | 374.0   | ▲ 4.5     | 8.1        |
| 消費量        | 310.5   | 307.6            | 311.2   | ▲ 2.5     | 1.2        |
| うち飼料用      | 137.9   | 148.0            | 146.7   | ▲ 1.3     | ▲ 0.9      |
| エタノール用等    | 136.6   | 123.2            | 128.3   | ▲ 1.3     | 4.1        |
| 輸 出 量      | 52.5    | 45.2             | 59.1    | －         | 30.8       |
| 輸 入 量      | 0.7     | 1.1              | 0.6     | －         | ▲ 39.6     |
| 期末在庫量      | 56.4    | 50.7             | 55.0    | ▲ 8.5     | 8.6        |
| 期末在庫率      | 15.5%   | 14.4%            | 14.9%   | ▲ 2.2     | 0.5        |
| (参考)       |         |                  |         |           |            |
| 収穫面積(百万ha) | 32.89   | 32.92            | 33.40   | ▲ 0.38    | 1.5        |
| 単収(t/ha)   | 11.07   | 10.51            | 11.20   | ▲ 0.01    | 6.5        |

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「World Agricultural Production」(9 October 2020)

図：米国産とうもろこしの単収・収穫面積の推移



資料：USDA「PS&D」(2020.10.9)のデータをもとに農林水産省にて作成

## < ブラジル >

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、前年度より7.8%増の110.0百万トンとなり、史上最高の見込み。南部のパラナ州、リオグランデドスル州で夏とうもろこしの作付けが進んでいる。他の地域では、乾燥天候が続いていたが、10月下旬にブラジル中央部で降雨があった。パラナ州では、10月上旬の降雨で作付けが進展し、10月19日現在で作付け進捗率は86%となっている。

また、ラニーニャ現象に伴う降雨のばらつきも見込まれるため、生育への影響も懸念される。

なお、ブラジル食料供給公社(Conab)月例報告(2020.10.8)によれば、現在作付けされている2020/21年度の夏とうもろこしの生産量は、作付面積は前年度より減少するものの、単収が増加することから前年度比4.2%増の26.8百万トンの見込み。一方、大豆収穫後に作付けする冬とうもろこしの生産量は78.4百万トンが見込まれ、合計では前年度比2.6%増の105.2百万トンと史上最高の見込み。(P.19 大豆—ブラジルのクロップカレンダー参照)。

【需給状況】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、前月予測からの変更はなく、前年度より1.4%増の70.0百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、前年度より14.7%増の39.0百万トンの見込み。輸出シェアは世界第2位を維持。(図参照)。一方、輸入量は1.5百万トンの見込み。

ブラジル貿易統計によれば、2020年1～9月の累計輸出量は20.1百万トンで、収穫が例年より早かった前年度と比べ29%減となっている。内訳は、1位がイランで247万トン、2位が日本で209トンとなっている。9月以降、2019/20年産の冬とうもろこしの収穫に伴い、輸出量が増加している。

## とうもろこし—ブラジル

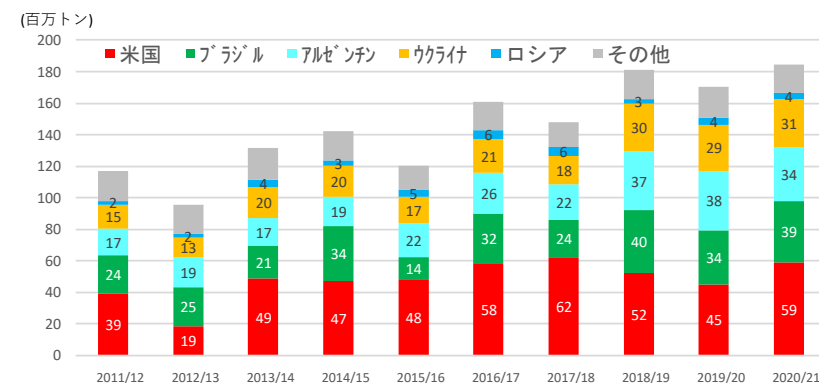
(大豆収穫後に栽培する冬とうもろこしが7割を占め、夏とうもろこしは3割)

(単位:百万トン)

| 年 度        | 2018/19 | 2019/20<br>(見込み) | 2020/21       |               |                |  |
|------------|---------|------------------|---------------|---------------|----------------|--|
|            |         |                  | 予測値、( )はIGC   | 前月予測<br>からの変更 | 対前年度<br>増減率(%) |  |
| 生 産 量      | 101.0   | 102.0            | 110.0 (106.3) | -             | 7.8            |  |
| 消 費 量      | 67.0    | 69.0             | 70.0 (71.0)   | -             | 1.4            |  |
| うち飼料用      | 57.0    | 59.0             | 60.0 (54.5)   | -             | 1.7            |  |
| 輸 出 量      | 39.7    | 34.0             | 39.0 (36.0)   | -             | 14.7           |  |
| 輸 入 量      | 1.7     | 1.2              | 1.5 (0.8)     | -             | 25.0           |  |
| 期末在庫量      | 5.3     | 5.5              | 8.0 (5.9)     | -             | 45.5           |  |
| 期末在庫率      | 5.0%    | 5.3%             | 7.3% (5.5%)   | -             | 2.0            |  |
| (参考)       |         |                  |               |               |                |  |
| 収穫面積(百万ha) | 17.50   | 18.50            | 19.50 (18.80) | -             | 5.4            |  |
| 単収(t/ha)   | 5.77    | 5.51             | 5.64 (5.65)   | -             | 2.4            |  |

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「World Agricultural Production」(9 October 2020)  
IGC 「Grain Market Report」(24 September 2020)

図：世界のとうもろこし輸出国の輸出量の推移



資料: USDA 「PS&D」 (2020.10.9) のデータをもとに農林水産省にて作成

## < アルゼンチン >

【生育・生産状況】USDA によれば、2020/21 年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、前年度より 2.0%減の 50.0 百万トンの見込み。

ブエノスアイレス穀物取引所（2020.10.22）によれば、長引く乾燥天候により作付けが遅れていたものの、最近のサンタフェ州、ブエノスアイレス州の降雨により作付けが進み、作付進捗率は 27.5%となっている。

【貿易情報・その他】USDA によれば、2020/21 年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、前年度より 10.5%減の 34.0 百万トンの見込み。

アルゼンチン国家統計局によれば、2020 年 1～8 月の輸出量は 28.9 百万トンで、前年同期より 16%増。内訳は、1 位がベトナム 6.3 百万トン、2 位がエジプト 3.3 百万トン、3 位がアルジェリア 2.6 百万トン。なお、アルゼンチン政府は、財政赤字の補填等のため、2019 年 12 月 14 日、輸出税を約 7%から 12%へ引き上げた。

## < 中国 >

【生育・生産状況】USDA によれば、2020/21 年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、前年度より 0.3%減の 260.0 百万トンの見込み。中国糧油情報センター（2020.10.9）によれば、8 月末から 9 月初旬にかけて産地の黒竜江省等東北部に 3 回の台風が到来し、倒伏被害が発生したが、生産量への影響は限定的であった。9 月末現在、東北部の春とうもろこしは乳熟期から収穫期に入っている。河北省等の夏とうもろこしも乳熟期から収穫期に入っている。

【需給状況】USDA によれば、2020/21 年度の消費量は、前月予測からの変更はなく、前年度より 0.7%増の 279.0 百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】中国国家発展改革委員会は、2020 年 9 月 17 日に 2021 年の低関税（最低 1%）適用の輸入枠を 2020 年（7.2 百万トン）と同量に据え置くと発表した。

中国の貿易統計によれば、2020 年 1～8 月の輸入量は 5.6 百万トンで、前年同期より 50%増。主にウクライナ産 4.7 百万トン（85%）が占めている。

農業農村部「農産品供需形勢分析月報 9 月号」によると、9 月の国内流通価格は、季節的な下落もみられたものの、豚の生産が急速に回復し、とうもろこしの需要が旺盛であることから、引き続き高値で推移している。一方、外国産の価格上昇も続いていることから、内外価格差は縮小している。

## とうもろこしーアルゼンチン

(単位:百万トン)

| 年 度   | 2018/19 | 2019/20<br>(見込み) | 2020/21       |               |                |  |
|-------|---------|------------------|---------------|---------------|----------------|--|
|       |         |                  | 予測値、( ) は IGC | 前月予測<br>からの変更 | 対前年度<br>増減率(%) |  |
| 生 産 量 | 51.0    | 51.0             | 50.0 (52.1)   | -             | ▲ 2.0          |  |
| 消 費 量 | 13.8    | 13.5             | 15.0 (21.1)   | -             | 11.1           |  |
| うち飼料用 | 9.7     | 9.5              | 11.0 (16.5)   | -             | 15.8           |  |
| 輸 出 量 | 37.2    | 38.0             | 34.0 (31.0)   | -             | ▲ 10.5         |  |
| 輸 入 量 | 0.0     | 0.0              | 0.0 (0.0)     | -             | -              |  |
| 期末在庫量 | 2.4     | 1.9              | 2.9 (4.4)     | -             | 54.0           |  |
| 期末在庫率 | 4.6%    | 3.6%             | 5.9% (8.5%)   | -             | 2.2            |  |

(参考)

|            |      |      |             |   |       |
|------------|------|------|-------------|---|-------|
| 収穫面積(百万ha) | 6.10 | 6.30 | 6.20 (7.10) | - | ▲ 1.6 |
| 単収(t/ha)   | 8.36 | 8.10 | 8.06 (7.34) | - | ▲ 0.5 |

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「World Agricultural Production」(9 October 2020)、  
IGC 「Grain Market Report」(24 September 2020)

## とうもろこしー中国

(単位:百万トン)

| 年 度   | 2018/19 | 2019/20<br>(見込み) | 2020/21       |               |                |  |
|-------|---------|------------------|---------------|---------------|----------------|--|
|       |         |                  | 予測値、( ) は IGC | 前月予測<br>からの変更 | 対前年度<br>増減率(%) |  |
| 生 産 量 | 257.2   | 260.8            | 260.0 (261.0) | -             | ▲ 0.3          |  |
| 消 費 量 | 274.0   | 277.0            | 279.0 (287.2) | -             | 0.7            |  |
| うち飼料用 | 191.0   | 192.0            | 192.0 (182.0) | -             | -              |  |
| 輸 出 量 | 0.0     | 0.0              | 0.0 (0.1)     | -             | -              |  |
| 輸 入 量 | 4.5     | 7.0              | 7.0 (7.0)     | -             | -              |  |
| 期末在庫量 | 210.2   | 200.9            | 188.9 (172.2) | ▲ 0.2         | ▲ 6.0          |  |
| 期末在庫率 | 76.7%   | 72.5%            | 67.7% (60.0%) | ▲ 0.1         | ▲ 4.8          |  |

(参考)

|            |       |       |               |   |       |
|------------|-------|-------|---------------|---|-------|
| 収穫面積(百万ha) | 42.13 | 41.28 | 42.00 (41.76) | - | 1.7   |
| 単収(t/ha)   | 6.10  | 6.32  | 6.19 (6.25)   | - | ▲ 2.1 |

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「World Agricultural Production」(9 October 2020)、  
IGC 「Grain Market Report」(24 September 2020)